

常設展示

②11月9日(月)~12月20日(日)

会場:中央図書館1階、グローバル・コンサーン研究所 地図E

グローバル・コンサーン研究所

ブックフェア「食と農を支配するのは誰か?~グローバル時代における社会運動、民主主義、人権への新たな課題」(書籍やパネル展示)
国際基督教大学社会科学研究所と共催する第35回国際シンポジウムと同タイトルの連動ブックフェア。誰にとっても身近な食と農を切り口に、グローバル化の新たな課題を考える、その入り口となる書籍やDVDを展示する。

2015年度 聖書講座「ルターにおける聖書と神学」

11月14日(土) 10:00~16:30 / 11月15日(日) 13:00~16:30

会場:中央図書館921会議室(9階) 地図E

キリスト教文化研究所

本学が昨年度購入した「ルター訳聖書」(1560年)は、フォイエールイベント聖書とも呼ばれ、聖書の教えを民衆に分かりやすく伝えるという目的で、150点以上の手彩色木版画の挿絵が収録されている。国内で同版を所蔵する研究機関は、本学のみ。

◆聴講料が必要ですので、同研究所にお問い合わせください。TEL 03-3238-3540

③11月13日(金)~11月27日(金)

会場:2号館1階 地図G

上智大学研究機構

平成26年度完了 学内共同研究 研究成果ポスター展

[経済学科] 川西諭 / コミュニティの構造および機能の測定評価手法と改善策の研究開発
[経営学科] 網倉久永 / 分断的イノベーションによる市場地位逆転プロセスに関する理論的・経験的分析

[総合グローバル学科] 蘭信三 / 「外国人集住都市」における「多文化共生」という理念と現実-地方都市の将来、エスニック・コミュニティの展望-(平成25年度完了)

[総合グローバル学科] 丸井雅子 / 水中文化遺産条約の現状と課題:カンボジアを事例として
[物質生命理工学科] 長尾宏隆 / 生体分子に親和性を示すルテニウム錯体の合成および生体分子との相互作用

[情報理工学科] 田中昌司 / 人間の脳活動と動物の多次元行動空間における向精神薬効果の評価

同時展示~産官学連携の取り組み

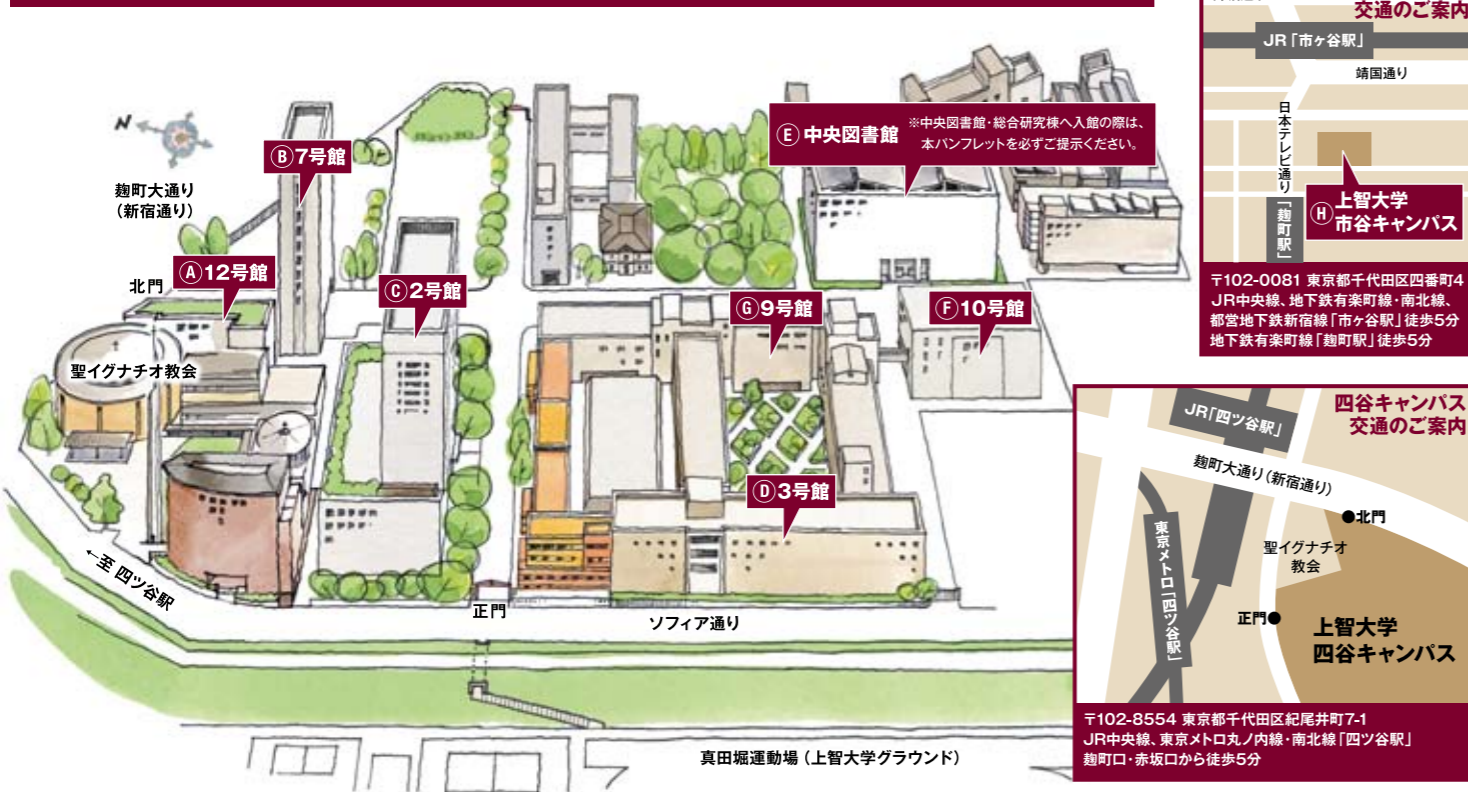
「イノベーション・ジャパン2015-大学見本市」に出展した際の

研究内容紹介ポスターも展示いたします。

[物質生命理工学科] 藤田正博 / イオン液体によるバイオマス資源の包括的利活用

[物質生命理工学科] 竹岡裕子 / 核酸を感じて光る高分子

上智大学四谷キャンパスマップ



- 中世思想研究所 TEL:03-3238-3822
- イベロアメリカ研究所 TEL:03-3238-3530
- 国際言語情報研究所 TEL:03-3238-3493
- グローバル・コンサーン研究所 TEL:03-3238-3023
- 比較文化研究所 TEL:03-3238-4082
- ヨーロッパ研究所 TEL:03-3238-3902

- アジア文化研究所 TEL:03-3238-3697
- アメリカ・カナダ研究所 TEL:03-3238-3908
- イスラーム研究センター TEL:03-3238-4073
- 音楽医科学研究センター TEL:03-3238-4072
- 理工学部・理工学研究科 TEL:03-3238-3300

●主催:上智大学研究機構 [連絡先] 上智大学研究機構事務局(研究推進センター) TEL:03-3238-3173 <http://www.sophia.ac.jp/>

- 中世思想研究所
- イベロアメリカ研究所
- 国際言語情報研究所
- グローバル・コンサーン研究所
- 比較文化研究所
- ヨーロッパ研究所
- アジア文化研究所
- アメリカ・カナダ研究所
- イスラーム研究センター
- 音楽医科学研究センター
- 理工学部・理工学研究科
- 学内共同研究採択課題
- 重点領域研究採択課題
- 上智大学研究機構



SOPHIA OPEN RESEARCH WEEKS

ソフィア・オープン・リサーチ・ウィーク 2015
2015年11月14日(土) — 27日(金)
上智大学 四谷キャンパス・市谷キャンパス

●主催:上智大学研究機構 ●後援:千代田区

混じり合う学術研究が指し示す世界の潮流。



SOPHIA OPEN RESEARCH WEEKS

Sophia Open Research Weeks 2015へようこそ。

上智大学研究機構では、機構所属の研究所並びに学内共同研究の活動成果を学内外に紹介する研究フェスティバルを2006年度から開催してきました

が、2014年度からは多彩な企画に多くの方々が気軽に参加でき、楽しんでいただけるよう「Sophia Open Research Weeks」と題して、装いも新たに開催することにいたしました。本年のテーマは「混じり合う学術研究が指し示す世界の潮流。」です。このリーフレットを手にとって、明日に、未来につながるイベントへお出掛けいただければ幸いです。

上智大学研究機構長 長尾直茂



常設研究部門

①11月22日(日) 10:00～17:00

会場：中央図書館821会議室（8階）地図E

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

中世思想研究所

中世における愛の諸相（講演会）

「神は愛である」。キリスト教思想の根幹をなす「愛」は、自己肯定、友愛、神との一致への憧憬といった諸相を呈する。本講演会では西洋中世において「愛」がいかに主題化されてきたかを学際的に描き出す。

②11月25日(水) 15:00～18:30

会場：2号館1702会議室（17階）地図C

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

イベロアメリカ研究所

中米と日本ーグローバル時代の課題と展望ー（シンポジウム）

中米・日本外交樹立80周年を機に、中米諸国の歴史、現状、将来について、中米・日本間でこれまでに実践されてきた国際協力の成果と外交関係を中心に、具体的かつ貴重な情報を提供しながら、4人の専門家と5大使と共に議論する。

③11月26日(木) 13:30～15:00

会場：中央図書館821会議室（8階）地図E

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、□一般の方、■研究者

国際言語情報研究所 音声学研究室

1) Speech production in psycholinguistics: Phonological priming effects in naming versus phoneme monitoring tasks with picture stimuli as targets.（講演会）

A review of psycholinguistic approach to speech production and crucial issues in Levelt’s speech production model.

④11月21日(土) 13:30～14:45

会場：2号館508会議室（5階）地図C

○主な対象者：■高校生、■大学生、□大学院生、■一般の方、□研究者

国際言語情報研究所 言語聴覚研究センター

2) 言語聴覚障害学の社会的展開 言語聴覚士って何?どこで、何をする人? (その1) スペシャルオリンピックスとのかわりを通して見えてきたもの（講演会）講師は言語聴覚士としての職業を活かして、スペシャルオリンピックスのヘルシー・アスリート・プログラム（HAP）に携わっている。この活動を通して見えてきたコミュニケーション支援の本質をお話いただく。

⑤11月21日(土) 15:00～16:15

会場：2号館508会議室（5階）地図C

○主な対象者：■高校生、■大学生、□大学院生、■一般の方、□研究者

国際言語情報研究所 言語聴覚研究センター

3) 言語聴覚障害学の社会的展開 言語聴覚士って何?どこで、何をする人? (その2) 東北の被災地での支援を通して見えてきたもの（講演会）

小児領域の言語聴覚士が多数参加する「子どもの発達支援を考えるSTの会」は東日本大震災後、継続して被災地支援を行ってきた。この活動を通して、支えるー支えられる関係、言語聴覚士の行う支援の本質を考えたい。

⑥11月21日(土) 14:00～17:30

会場：3号館426会議室（4階）地図D

○企画形態：シンポジウム

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

グローバル・コンサーン研究所

1) 外国にルーツを持つ若者の大学進学（シンポジウム）

大学進学率の低い移住者の子どもたちに対して、日本の大学も社会的役割を果たすべく、移住者の子どもの進学実態調査を紹介し、外国の例を検討、大学進学を果たした当事者からの報告から、大学のとるべき方策を探る。

⑦11月9日(月) 17:00～19:00

会場：グローバル・コンサーン研究所（中央図書館7階）地図E

○主な対象者：■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者■その他（教職員）

グローバル・コンサーン研究所

2) ソフィア哲学カフェ（ワークショップ）

わたしたちにとってとても大切なことなのに、ふだんはあまり考えないことを、ゆっくり、じっくり、くつろいで言葉を交わしながら考えてみませんか。今回のテーマは「幸福」。「こうふく」「しあわせ」「はっぴー」ってどういうことだろう。考えてもわからないかもしれない。でも、考える前と後とは、わたしたちは変わっているはず。

⑧11月11日(水) 17:00～19:00

会場：2号館409室（4階）地図C

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

グローバル・コンサーン研究所

3) 映画上映会＋トーク グラニート：独裁者に爪をかけろ！

グアテマラの軍事政権時代、マヤの先住民20万人が虐殺された。時を経て、当時の独裁者の犯罪をどう立証し、国際法廷にかけるか。ジャーナリストや国際弁護士たちの息詰まるような攻防が始まる。本邦初公開、日本語字幕。トークはデモクラシー・ナウ!ジャパン代表中野真紀子氏。

⑨11月17日(火) 17:00～19:00

会場：中央図書館821会議室（8階）地図E

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

比較文化研究所

1) Light and Darkness: Reflections on the Study of Japanese Literature in Germany（講演会）

ベルリン自由大学の教授で海外の日本文学研究の第一人者の一人であるイルメラ・日地谷＝キルシュネライト氏をお招きし、ドイツにおける日本文学研究の現状についての講演会を行う。研究者・学生の関心領域、日本学・文献学などの方法論の問題などを論じていただく。講演の後、本学の教員を交えてディスカッションを行う予定である。

⑩11月27日(金) 17:00～19:00

会場：10号館301会議室（3階）地図F

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

比較文化研究所

2) Legacies of the Japanese Empire: Historical Perspectives（講演・討論会）

This event will continue to build on scholarly activities started at the Sophia Symposium "Empire and Aftermath: New Perspectives on the Legacies of the Japanese Empire" (held on June 19, 2015) and through the ICC research project on Postcolonial Asian Cities.

⑪11月19日(木) 17:00～19:00

会場：中央図書館821会議室（8階）地図E

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

ヨーロッパ研究所

ドイツの環境運動と環境思想 ～脱原発への道のり～（シンポジウム）

ドイツ語圏の事例を踏まえ、エネルギー問題の今後を考える。「ドイツにおける政治的概念としてのエコロジーとその背景」<オプヒュルス鹿島ライノルト（本学外国語学部ドイツ語

学科教授）>「戦後ドイツの環境思想と原発論」<山脇直司（星槎大学教授、東京大学名誉教授）>司会：木村謙郎クリストフ（本学外国語学部ドイツ語学科教授）

⑫11月25日(水) 18:00～19:30

会場：2号館508会議室（5階）地図C

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者

アジア文化研究所

グローバルな紛争・ローカルな和解

ーイスラームと宗教・宗派間対立への視点（講演会）

ISILなどの暴力的なイスラーム主義運動のグローバル・イシューとしての性格を踏まえつつ、紛争の原因と経過だけではなく、解決と和解の過程とその過程に私たちがどのように関われるかについて論じる。

⑬11月6日(金) 17:00～18:30

会場：中央図書館921会議室（9階）地図E

○主な対象者：■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

アメリカ・カナダ研究所

1) US Race Relations and Hollywood'sScapegoating of the Japanese during WWII（講演会）

This talk argues that the 1943 Hollywood WWII combat movie, Bataan(1943, dir. Tay Garnett), scapegoats the Japanese enemy by transferring the mark of anti-black racism from white to Japanese through the figure of lynching.

⑭11月16日(月) 17:00～18:30

会場：9号館255教室（2階）地図G

○主な対象者：■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

アメリカ・カナダ研究所

2) Canada Lecture Series（講演会）

袋小路に陥ったケベックの主権主義：ケベック独立運動は終わったのか

時限研究部門

⑮12月5日(土) 14:00～17:00

会場：2号館415室（4階）地図C

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者

イスラーム研究センター

「アラブの春」から「イスラム国」へ

ー無秩序と混乱の広がる中東・北アフリカの現状（シンポジウム）

民主化への明るい希望を抱かせた「アラブの春」から一転、「イスラム国」の出現とともに、無秩序と混乱状況が広がっている中東・北アフリカのイスラム諸国の現在を、シンポジウム形式で議論する。

⑯11月27日(金) 18:45～20:15

会場：市ヶ谷キャンパス 本館201室（2階）地図D

○主な対象者：■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

音楽医科学研究センター

音楽医科学研究センター紹介

音楽医科学は、音楽家が思い描いた演奏を健やかに実現するための研究を行う学問である。理系、文系の枠を超え、医工芸の融合した学際的な学問の研究内容や実験装置を紹介する。

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
11月▶	2	3	4	5	6 ⑬	7	8
	9 ⑦	10	11 ⑧	12	13	14	15
	16 ⑭	17 ⑨	18	19 ⑪ ⑱	20	21 ④ ⑤ ⑥	22 ①
	23	24 ⑯	25 ② ⑫	26 ③ ⑳ ㉑	27 ⑩ ⑰ ⑲	28	29
	30	12月▶ 1	2	3	4	5 ⑮	6

【常設展示】グローバル・コンサーン・研究所：⑦11月9日(月)～12月20日(日)／上智大学研究機構：⑫11月13日(金)～12月27日(金)

研究機構等

⑰11月27日(金) 17:00～19:00

会場：2号館1701会議室（17階）地図C

○主な対象者：■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

1. 研究機構等

東アジアの日本学（ジャパノロジー）ー過去から現在、そして未来へ（シンポジウム）ヨーロッパのアジア学の一つとして成立したジャパノロジーを、東アジアの文化交渉や歴史的推移という文脈を踏まえた`日本学、として考え直す。パネリストに王敏氏（法政大学教授）、沈元燮氏（獨協大学特任教授）、師茂樹氏（花園大学教授）の三名を迎え、活発な議論を展開する。

⑱11月24日(火) 17:30～19:00

会場：12号館402会議室（4階）地図A

○主な対象者：■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

2. 理工学部・理工学研究科

2015年ノーベル賞解説講演会（講演会）

理工学部・理工学研究科では、例年どおり、「2015年ノーベル賞解説講演会」を開催する。今回は、2日連続で日本人科学者が受賞したことで大きな話題となっている、生理学・医学賞及び物理学賞に焦点をあて、それぞれの分野に詳しい先生方が解説する。理工学部の学生、教職員の方々はもちろん、他学部の皆様や卒業生のご参加を歓迎する。

⑲11月19日(木) 18:00～19:30

会場：7号館特別会議室（14階）地図B

○主な対象者：□高校生、□大学生、□大学院生、■一般の方、■研究者

3. 学術研究特別推進費重点領域研究採択課題

1) 研究代表者：国文学科 豊島正之 教授

キリシタン文献と能楽（講演会）

ザビエル来日から僅か数年で、日本イエズス会が欧州へ送った報告書類は、欧州で翻訳・出版されて多くの読者を得た。そこに散見される当時の芸能の記述から、特に能楽を取り上げて、キリシタンと能との関わりを探る。講演者は豊島正之（文学部・国文学科教授）とPatrick Schwemmer（客員研究員）。

⑳11月26日(木) 12:35～13:25

会場：2号館415会議室（4階）地図C

○主な対象者：□高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、■研究者

2) 研究代表者：地球環境学専攻 黄光偉 教授

安心・安全な社会づくりに向けてー学融合の取り組みー（講演会）

持続可能な安心・安全な社会に関する研究が社会から求められている情勢の中で、本講演会では「水と食を軸とした安心・安全な社会づくり」をテーマに、学融合的なアプローチで安心・安全な社会のビジョンを実現するひとつロードマップを提示する。

㉑11月26日(木) 17:00～19:00

会場：12号館402会議室（4階）地図A

○主な対象者：■高校生、■大学生、■大学院生、■一般の方、□研究者

3) 研究代表者：機能創造理工学科 足立匡 准教授

超低速ミュオンビームによる次世代機能性材料の表面／内部スピン状態の解明ートポロジカル絶縁体、強相関超伝導体ー（講演会）

次世代の機能性材料として期待される「トポロジカル絶縁体」と「銅酸化物超伝導体」のメカニズムを、新しい量子ビームである「超低速ミュオンビーム」を用いて解明する本重点領域研究について、やさしく解説する。